

つるみ がわ こうずい ひなんちず
鶴見川洪水避難地図
 (鶴見川洪水ハザードマップ)

鶴見川の氾濫 + 浸水実績

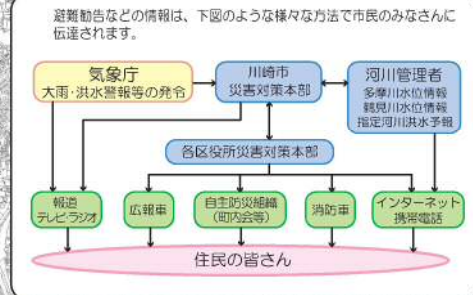
裏面もご覧下さい!!
 多摩川の情報・
 災害時に役立つ情報が記載されています。

一 中原区版 一

鶴見川洪水避難地図について

- この地図は、鶴見川が大雨によって増水し堤防が破壊した場合に、浸水が想定される範囲とその程度、及び地域の避難場所を示した地図です。堤防の決壊地点を200m毎に想定して、各々の氾濫シミュレーション結果を重ね合わせ、最大となる浸水深を示しています。
- 大雨の規模は、鶴見川の流域に2日間で総雨量405mmの雨（150年に1回程度降る可能性があります）を想定しています。これ以下の降雨でも大規模な洪水が起る可能性があります。
- 浸水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の変化、河川・下水道の整備状況などにより変化することがあります。また、高潮や下水道などによる影響を想定していませんので、表示と異なる浸水が起る場合があります。
- 水害のおそれがある時は、市から避難勧告や避難指示が出されますので速やかに避難しましょう。
- 日ごろからあなたが住んでいる地区における浸水など、大雨による災害が発生するおそれのある場所や状況を把握し、雨の降り方や浸水の状況に注意して危険を感じたら早めに自主的な避難を心がけましょう。

ご注意ください!!
 河川があふれた場合、その流れが速い場合もあるので危険です。そのような箇所近づかないようにしましょう。
 坂道などを流れる雨水も同様にご注意です。



避難の区分	市からの呼びかけ内容(例)	とるべき行動
避難勧告	〇〇地区の皆さん、鶴見川(多摩川)の水位が急激に上昇して危険な状態です。速やかに避難しましょう。	お互い助け合って指定された避難場所に、速やかに、避難しましょう。なお、自動車による避難はやめましょう。
避難指示 (避難命令)	〇〇地区の皆さん、鶴見川(多摩川)の堤防が決壊する危険があります。ただちに避難場所に避難しましょう。	指定された避難場所にただちに避難しましょう。

主な連絡先

公共機関	電話番号
中原区危機管理担当	744-3141
川崎市危機管理室	200-2841
川崎市建設緑政局河川課	200-2902
中原消防署	411-0119
中原警察署	722-0110
中原区役所道路公園センター	788-2311
中郡下水道事務所	701-2906
京浜河川事務所(国)	045-503-4000
川崎治水センター(県)	932-7211

※地形図および急傾斜地崩壊危険区域は平成12年現在のデータを使用。

平成16年9月 川崎市作成
 川崎市川崎区宮本町1番地
 お問い合わせ先 川崎市総務局危機管理室 電話200-2841
 川崎市建設緑政局河川課 電話200-2902

浸水実績について
【凡例】

- 浸水被害箇所

- 過去の降雨による浸水実績を市民に明らかにすることにより、市民の浸水に対する危険性について認識を深め、あるいは住宅等の建築時の参考資料としての活用を図り、浸水に係る被害の軽減を図ることを目的としています。以下について御理解の上御利用ください。
- 浸水被害は、建物に隣接する被害として、川崎市の災害概要に記載されたもののみを表示しています。確認できない被害の表示はありません。
- 地形図における浸水実績の誤差を含み、表示には概算の位置を示しています。目安としてご利用ください。
- 過去10年間の浸水被害について表示しています。(平成17年度～平成26年度) 浸水被害の範囲には、住宅の構造によるものが含まれています。(例：地下室等)
- 同一箇所が発生している浸水被害は、重ねて表示しています。

▼浸水深の色の目安

浸水深が0.5m未満	5.0m
1階の軒下までつかる程度	4.0m
2階の軒下までつかる程度	3.0m
3階の軒下までつかる程度	2.0m
4階の軒下までつかる程度	1.0m
5階の軒下までつかる程度	0.5m

【凡例】

- 浸水深別想定浸水区域
 - 浸水深が1~2m未満
 - 浸水深が0.5~1m未満
 - 浸水深が0.5m未満
- 都県境
- 市境
- 区境
- 避難場所
- 急傾斜地崩壊危険区域

MEMO

0 500m 1000m 1500m
 1:11,000

